

福島原発事故から2年—



# チェルノブイリ 原発事故から28年 実態と現状をたどる旅

ベラルーシ・ウクライナ9日間

「今」改めて  
原発と人類が共存できるかを考える！

チェルノブイリの事故から28年。  
今なお<ゾーン>と呼ばれる汚染による立入禁止区域  
が存在する放射能汚染の実情を見る



## おさそい

福島第1原発事故から間もなく3年目を迎ようとしています。

私たちはこの事故から「原発」とは何か、原発の事故が自然環境や地域社会、家族、個人にもたらした災禍の実態はどのようなものかを少なからず学んできました。しかし、今後のことは未知のことばかりです。

28年前、チェルノブイリ原発事故に見舞われた被災地域と人々のくらしはどうなっているのか、その現状をたどる旅に参加しませんか。注目の4号炉石棺にも接近します。

日本ユーラシア協会原発問題特別委員会  
委員長 安部 愷三

## 企画のポイント ◀ 「学び」と「観光」

学び

- ◎ 理学博士や元原子力施設設計エンジニア参加予定
- ◎ チェルノブイリ原発事故の関係各所を訪問
- ◎ 被爆住民と残存放射能レベルの現状

観光

- ◎ チェルノブイリ4号炉～周辺地区の訪問
- ◎ 1500年の歴史を有する古都キエフに連泊
- ◎ 水と緑豊かなミンスクで中世の息吹を感じる



キエフ



ミンスク

旅行期間 **2014年**

**4月14日**(月)～**22日**(火) **9日間**

旅行費用 **298,000円**(大人お一人様)

旅行企画

日本ユーラシア協会

旅行主催

株式会社

ユーラスツアーズ

# チェルノブイリ原発事故～28年が経過した「今」を見る



## ●福島原発事故の国際評価尺度「レベル7」は、史上最悪とされたチェルノブイリ原発事故と同レベル

1986年4月26日に世界を震撼させる史上最悪の原発事故が、ウクライナ共和国にあるチェルノブイリ原子力発電所の4号炉で発生した。

ヘリコプターから5,000トンの砂や鉛などが投下され、14日後にようやく收拾がつくが、200キロ圏内の地域は高濃度汚染地域、風に乗った放射能は世界各地へ。8,000キロ離れた日本でも、野菜・水などから検出される大事故となった。

原発労働者の町「プリピャチ」住民に“地図から消えた村”での生活に戻る事は2度となかった。悲惨な事故から28年、18キロ圏内の放射線量は東京と同量となり、立入り禁止ゾーンを含め、観光名所の1つとなった。しかしながら、今なお健康被害が増え続けている。

**募集人員 30名様** (最低実施人数20名様) ※20名未満：別料金設定

一人部屋追加料金：**72,500円** (7泊分)

**添乗員 1名同行** **申込締切 3月12日** ※定員になり次第締め切りります。

※燃油サーチャージ(目安42,000円)、海外空港諸税(4290円)・成田空港施設使用料(2040円)・旅客保安サービス料(500円)、ロシア・ベラルーシ査証(ビザ)取得費用が別途必要となります。  
※上記はいずれも11月20日現在の金額です。



### その他◎訪問都市のご案内

#### ◎ミンスク (ベラルーシの首都)

水と緑豊かな近代都市。ソ連崩壊後に作られたCIS(独立国家共同体)の本部が置かれる。ヴァイキング時代からバルト海と黒海を結ぶ貿易の要所。第二次ポーランド分割後に帝政ロシアに組み込まれる歴史を有する。



#### ◎ゴメリ (ベラルーシ)

ベラルーシ第二の都市。ロシア帝政時代の宮殿や公園 18~19世紀の大聖堂・教会など歴史的な側面と、チェルノブイリ原発事故により、大きな被害を被った町でもある。



#### ◎スラブチッチ (ウクライナ)

チェルノブイリ原発事故の約1年後に開発されたウクライナで最も新しい町。チェルノブイリ原発から北東約50キロに位置し、“地図から消えた町”プリピャチの生まれ変わりと考えられる人も少なくない。



#### ◎キエフ (ウクライナの首都)

1500年あまりの歴史を有する東スラブ唯一の古都。988年ロシア・ウクライナ・ベラルーシに相当する東スラブ最初の統一国家となり、新興のモスクワ公国に政治・宗教の中心が移るまで「母なる町」として隆盛を極める。



※写真はすべてイメージ

日次	月日(曜)	都市	時刻	交通機関	適用・スケジュール	食事
1	4月14日(月)	東京・成田発 モスクワ着	昼前後 午後	航空機 専用車	→ロシアの首都モスクワへ 到着後、ホテルへ 【モスクワ泊】	朝× 昼機 夕機
2	4月15日(火)	モスクワ発 ミンスク着	午前 午前	航空機 専用車	→ベラルーシの首都ミンスクへ 午後： <b>ミンスク市内見学</b> = ◎「 <b>長崎の鐘</b> 」(長崎原爆被害者の鐘)、 ● <b>大祖国戦争史博物館</b> (ナチス抵抗バルチザンの活躍)、◎ <b>トラエツカヤ旧市街散策</b> 【ミンスク泊】	朝○ 昼○ 夕○
3	4月16日(水)	ミンスク	終日	専用車	終日： <b>チェルノブイリ原発事故関係各所訪問</b> (先方都合により、変更の可能性あり) = * <b>自然環境センター</b> 、* <b>非常事態管理センター</b> 、* <b>ベラルーシ友好会館</b> 【ミンスク泊】	朝○ 昼○ 夕○
4	4月17日(木)	ミンスク発 ホイニキ地区 ゴメリ着	朝 午前 午後	専用車	「高度汚染地域」ホイニキへ 午後： <b>被爆住民の現状・残存放射能レベルについて見聞</b> ベラルーシ第二の都市ゴメリへ 夕刻： <b>*放射能生物学研究所</b> 【ゴメリ泊】	朝○ 昼○ 夕○
5	4月18日(金)	ゴメリ発 スラブチッチ キエフ着	午前 午後	専用車	国境を越えてウクライナへ 午後： <b>●チェルノブイリ原発事故犠牲者を追悼する博物館</b> 首都キエフへ 【キエフ泊】	朝○ 昼○ 夕○
6	4月19日(土)	キエフ発 チェルノブイリ	朝 午後	専用車 350キロ	チェルノブイリへ 終日： <b>チェルノブイリ訪問</b> = * <b>セミホフ地区の訪問</b> (4号炉近く)、* <b>4号炉石棺</b> 、* <b>近郊の村訪問</b> 首都キエフへ 【キエフ泊】	朝○ 昼○ 夕○
7	4月20日(日)	キエフ	終日	専用車	終日： <b>キエフ市内見学</b> = ◎ <b>聖ソフィア寺院</b> 、◎ <b>黄金の門</b> 、◎ <b>世界遺産・ペテルスカヤ大修道院</b> 、◎ <b>民族詩人シェフチェンコの家博物館と記念館</b> 、◎ <b>旧市街散策</b> 【キエフ泊】	朝○ 昼○ 夕×
8	4月21日(月)	キエフ発 モスクワ着 モスクワ発	午後 午後 午後	航空機 航空機	→モスクワへ モスクワ経由にて →帰国の途へ 【機中泊】	朝○ 昼× 夕機
9	4月22日(火)	東京・成田着	午前		到着後、入国手続き～解散	朝機 昼× 夕×

●利用予定航空会社：エアフロート・ロシア航空、フィンランド航空、ルフトハンザ航空、オーストリア航空  
●利用予定ホテル：モスクワ(フダベスト)、ミンスク(ミンスクプラネタ)、ゴメリ(ツーリスト)、キエフ(ルーシ)あるいは同等クラス

## 旅行企画 日本ユーラシア協会

〒156-0052 東京都世田谷区経堂 1-11-2  
TEL: 03-3429-8231 FAX: 03-3429-8233  
e-mail: jes@kt.rim.or.jp

## 旅行主催・問合せ申込先 株式会社 ユーラスツアーズ

〒106-0044 東京都港区東麻布 1-26-8 イデアネックス東麻布 4 階  
TEL: 03-5562-3381 FAX: 03-5562-3380 http://www.euras.co.jp  
営業部 担当: 榑原 晋治 e-mail: s.sakakibara@euras.co.jp  
観光庁長官登録旅行業 49号 日本旅行業協会 JATA 正会員 旅行業取扱管理者: 滝沢泰斗